

点検結果表（規制の事前評価）

政策の名称	工場立地法の規制対象業種の見直し	府省名	経済産業省
根拠となる法令	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 政令 <input type="checkbox"/> 府省令 <input type="checkbox"/> 告示 <input type="checkbox"/> その他		
	工場立地法施行令		
規制の区分	<input type="checkbox"/> 新設等 <input checked="" type="checkbox"/> 緩和 <input type="checkbox"/> 廃止		
点検項目	評価の実施状況		課題
規制の目的、内容及び必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 説明あり <input type="checkbox"/> 説明なし		
費用の分析			
その他の社会的費用	<input type="checkbox"/> 金銭価値化 <input type="checkbox"/> 定量化 <input type="checkbox"/> 定性的記述 <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし <input type="checkbox"/> 分析なし		
費用と便益の関係の分析	<input type="checkbox"/> 費用便益分析 <input type="checkbox"/> 費用効果分析 <input type="checkbox"/> 費用分析 <input checked="" type="checkbox"/> 定性的な分析 <input type="checkbox"/> 分析なし		
【課題の説明】			

【点検結果表の別紙】

《規制の影響が及ぶ範囲に係る参考情報》

○ 当省の照会

規制の影響が及ぶ範囲を示す情報として、太陽光発電施設を設置しようとする者の数が分かれば、御教示下さい。

○ 経済産業省の説明

太陽光発電施設を設置しようとする者は、電気事業法における電気事業者にとどまらず、工場立地法における特定工場の設置者や特定工場の設置者以外のリース業者等、非常に多岐にわたるため、詳細な数字については把握出来ておりません。

なお、規制の影響が及ぶ範囲の一例として、太陽光発電の導入量の推移が考えられますが、資源エネルギー庁の資料によれば、平成23年度の太陽光発電の導入量は約500万kW（うち、メガソーラー等の非住宅は約80万kW）、平成24年度では約700万kW（うち、非住宅は約130万kW）へと拡大する見込みです。